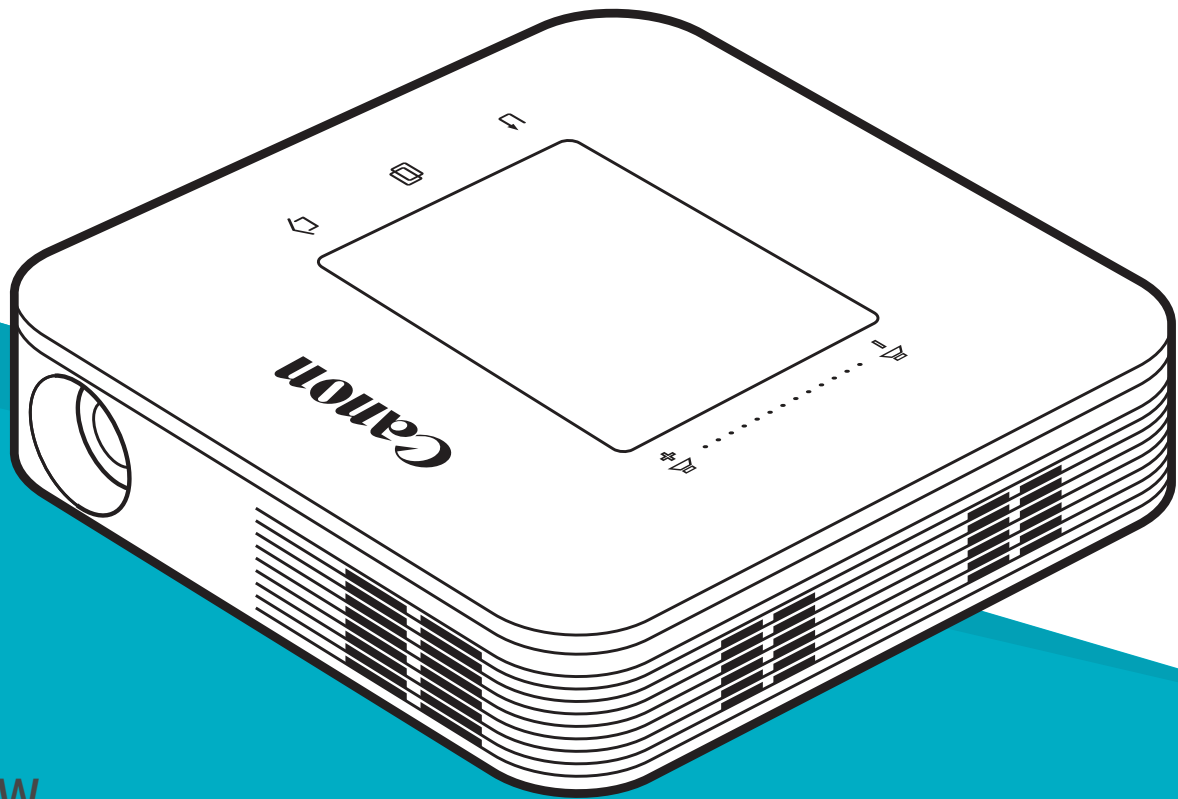


ミニプロジェクター C-13W



C-13W ユーザーガイド

このユーザーガイドは、Mini Projector C-13Wの使用方法を説明しています。
ご使用前に必ずこのユーザーガイドをよくお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、このユーザーガイドを将来いつでも使用できるよう大切に保管してください。

目次

安全にお使いいただくために	3	HDMI接続	19
安全のための警告/注意事項	3	アプリケーションメニュー (一例)	20
電波に関するご注意		ブラウザ	21
心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください		マルチメディア	22
電子レンジの近くでは使用しないでください		設定	23
移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください		ネットワーク設定	
設置について		Bluetooth設定	
電源について		言語設定	
取り扱いについて		その他の設定	
メンテナンスについて		プロジェクション設定	
LED光源について		オーディオ設定	
		日時設定	
		デバイス概要	
基本構成	8	充電の仕方	34
同梱品の確認	8	製品の充電	34
各部分の名称	9	製品の充電時間および駆動時間	34
基本操作	11	USB外部充電機能 (モバイルバッテリー機能)	35
電源を入れる	11	困ったときには	36
電源を切る	12	電源が入らない	36
フォーカス調整	12	無線接続されない	36
初期設定	13	映像と音声再生されない	36
ホームボタン	13	製品仕様	37
メニューボタン	13	※主な設定のデフォルト値	38
キャンセルボタン	13	法的告知	39
音量調整	13	免責事項	39
タッチパッドの操作	14	商標について	39
選択/実行		電波法について	39
メニュー表示		電波障害規制について	39
画面を上下に移動する			
画面を左右に移動する			
プロジェクターを使用する	17		
ホーム画面	17		
無線接続 (ミラーリング) : Android OSのみ	18		

安全にお使いいただくために

安全のための警告/注意事項

-  **警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
-  **注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害、または製品故障以外の物的損害が生じる可能性が想定される内容を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
-  **メモ** 操作の参考になることや補足説明が書かれています。

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz/5GHz 帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要ありませんが、次の点にご注意ください。

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでをご使用になると、本製品からの電波がペースメーカーなどの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。

電子レンジの近くでは使用しないでください

電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。

移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、お客様相談センターへご連絡の上、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。



メモ

本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません
本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなかったり、通信速度が低下する場合があります。

その場合は、本製品や無線機器の設置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。

設置について

-  **警告** ・アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
- ・アクセサリーなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。万一、内部に入った場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご連絡ください。
 - ・医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。
-  **注意** ・次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。
不安定な場所/振動のある場所/雨や雪が降りかかるような場所/高温になる場所/火気に近い場所/排気口をふさぐおそれのある場所(壁の近く、ベット、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上など)/風通しの悪い場所/湿気やホコリの多い場所/屋外や直射日光の当たる場所
- ・本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・三脚を使用して設置する場合は、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、機器の破損及びけがや事故の原因になります。



たばこの煙や油煙がかかるような環境ではお使いにならないでください故障などの原因になることがあります。

電源について

-  **警告** ・電源アダプターを傷つける、加工する、引っぱる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源アダプターに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- ・濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - ・タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・電源アダプターは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になります。

取り扱いについて

-  **警告** ・製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・電源アダプター、ケーブル類、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因となり危険です。
 - ・異音・異臭がする、発熱・発煙しているなどの場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になり、大変危険です。
 - ・製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
 - ・バッテリーを分解して開けたり切らないでください。発火、破裂などの原因となることがあります。
 - ・バッテリーを分解、加熱、衝撃を与えないでください。発火、破裂などの原因となることがあります。
 - ・バッテリーを熱や火気のある場所には放置しないでください。発火、破裂などの原因となることがあります。
 - ・バッテリーの液漏れが発生したときは、皮膚や目に触れないようにしてください。もし液漏れに触れた場合は、すぐに大量の水で洗い、医師の診察を受けてください。視力障害などの原因になることがあります。
 - ・製品(バッテリー含み)を廃棄するときは、焼却したり火の中に捨てないでください。熱により爆発や火災の原因になります。
 - ・動作中(投写中)は排気口周辺が高温になりますので、手で触れたりしないでください。やけどや事故の原因になることがあります。
 - ・機器の排気口を新聞、テーブルクロス、カーテンなどの物でふさがないでください。破損や故障、発火などの原因になることがあります。

メモ

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理をするようお願いいたします。詳しくは各自治体にお問合せください。

メンテナンスについて

- ⚠ 警告** ・清掃のときは、電源をお切りください。火災や感電の原因になります。
- ・電源アダプターを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になります。
 - ・清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
 - ・電源アダプターは定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になります。

LED光源について

- ⚠ 注意** ・使用中は強い光が出ていますので、投写レンズを覗きこまないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- ・本製品の投写光は、IEC62471に基づくリスクグループ2 (RG2) に分類されます。

リスクグループ2

注意： 本製品から危険の可能性がある非常にまぶしい光源が放出されます。動作ランプを直視しないでください。目を傷める恐れがあります。

基本構成

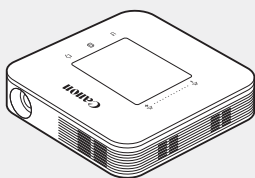
同梱品の確認

次の同梱品が揃っていることを確認してください。

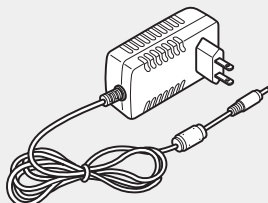


メモ

同梱品については事前に予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。



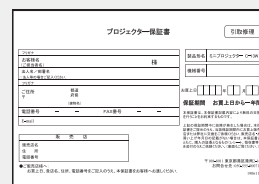
本体



電源アダプター

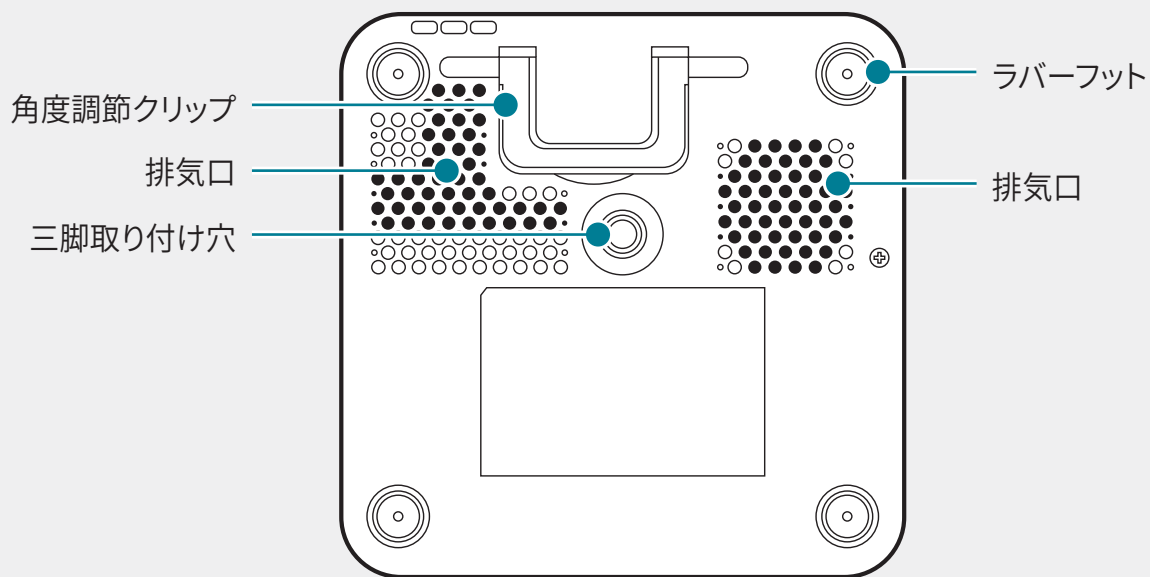
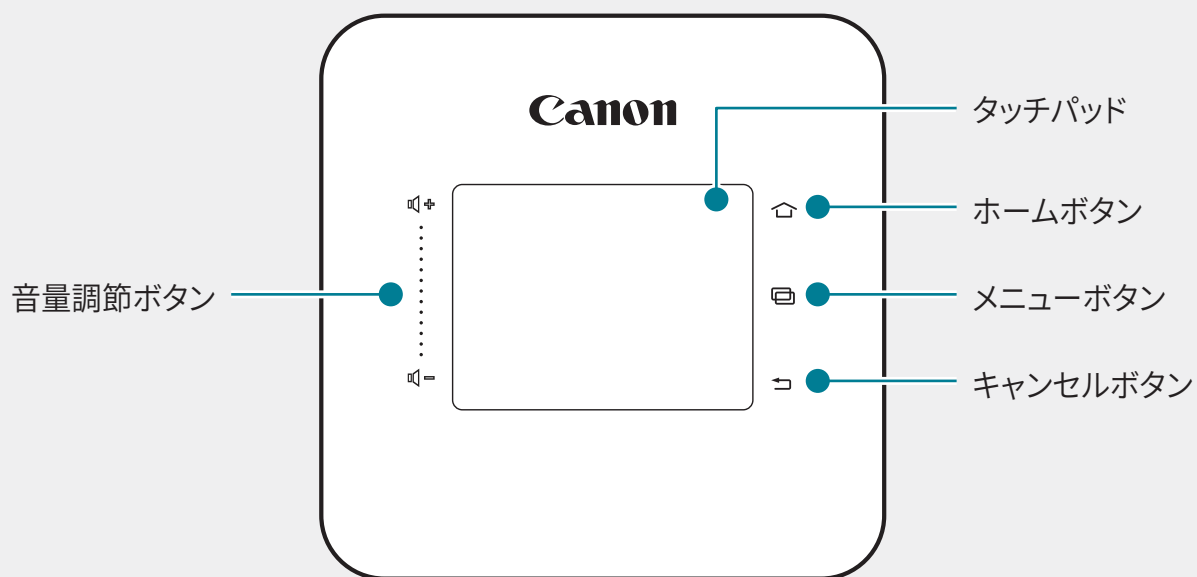


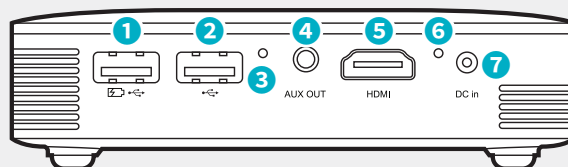
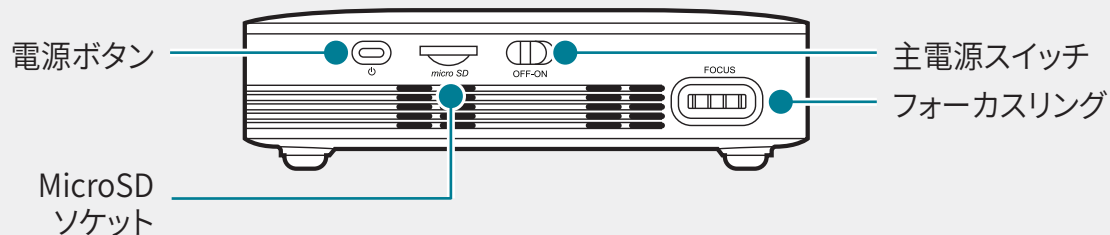
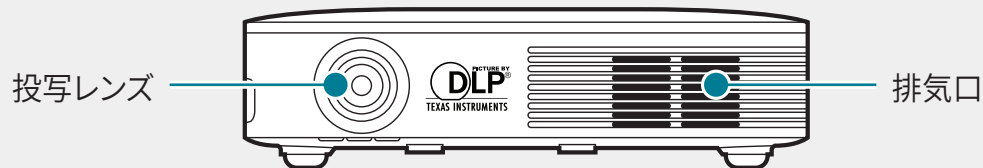
かんたんガイド



保証書

各部分の名称





名称	機能
① USB接続端子	USB機器の接続やモバイルバッテリー機能時に使用します。
② USB接続端子	USB機器の接続に使用します。
③ リセットボタン	 メモ USBメモリーは、FAT32/NTFS、最大64GBとなります。
	サービス専用ボタン。
④ 音声出力端子	 メモ 故障の原因になりますのでサービス用途以外ではさわらないで下さい。
	音声を外部スピーカーなどで出力することができます。
⑤ HDMI接続端子	HDMIケーブルを介した映像がプロジェクターから投写されます。
⑥ 充電ランプ	充電ランプの色で充電状態を確認することができます。 (赤:充電中、緑:充電完了)
⑦ 電源入力端子	電源アダプターを接続します。

基本操作

電源を入れる

1. 電源入力端子に電源アダプターを接続します。

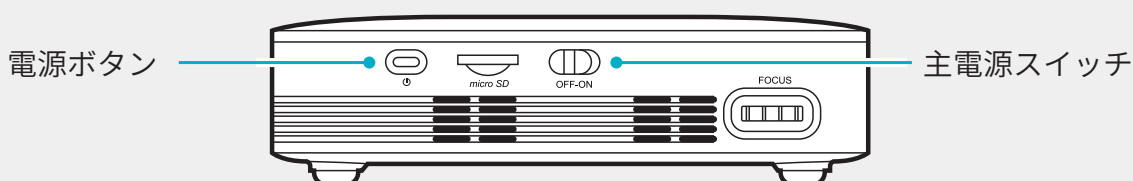


メモ

- 「製品の充電」は P34 充電の仕方をご確認ください。
- 必ず付属の電源アダプターをご使用ください。故障の原因になります。
- 誤った使用方法による被害は、保証対象外です。

2. 主電源スイッチをONにします。

デバイスがスタンバイモードに切り替わります。



3. 電源ボタンを長押し(約2秒)して、プロジェクターをオンにします。

約10秒後に起動画面が表示されたのちホーム画面が表示されます。



メモ

- プロジェクターを使用するには、主電源スイッチと電源ボタンを両方ともオンにする必要があります。
- 主電源スイッチだけをオンにする場合モバイルバッテリー機能のみ使用できます。
- プロジェクターを使用しないときは主電源スイッチと電源ボタンを両方ともオフにしてください。主電源スイッチがオンのままではスタンバイ状態となり、バッテリー内の電力が消費されます。

電源を切る

1. 電源ボタンを押すと、電源を切るダイアログボックスが表示されます。OKを選択してプロジェクターをオフにします。キャンセルを選択した場合、続けて使用することができます。



- 電源ボタンを長押し(約2秒)した場合もプロジェクターがオフになります。

2. 主電源スイッチをOFFにして電源を切ります。



- 必ず電源ボタンで電源を切ってから主電源スイッチをOFFにしてください。電源が入った状態でOFFにすると本体に悪影響を与える可能性があります。

フォーカス調整

プロジェクターから投写された画面が鮮明になるまで、フォーカスリングを左右に回して調整します。



- フォーカスリングはやさしく回して焦点を合わせて下さい。無理な力を加えると、フォーカスリングの損傷および破損のおそれがあります。
- 投写距離が規定範囲 (0.5m～3.0m) を越える場合、焦点が合わないことがあります。
- 投写距離 (製品と画面間の距離) が遠くなるほど画面は大きく、暗くなります。
- 上向き投写時では、焦点の再調整が必要な場合があります。

初期設定

最初の起動時には初期設定画面が表示されます。



- ① 言語選択 (P27 参照)
- ② タイムゾーン選択 (P31 日時設定参照)
- ③ 入力言語選択 (P28 参照)

①②③を設定し、画面下のOKボタンを押します。

ホームボタン

ホームボタンをタッチすると、ホーム画面に移動します。

メニューボタン

アプリケーションを使用中にメニューボタンをタッチすると、アプリケーションによってはメニューを確認できます。

キャンセルボタン

キャンセルボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

音量調整

本体上面の音量調節ボタン(＋、－)で調整します。

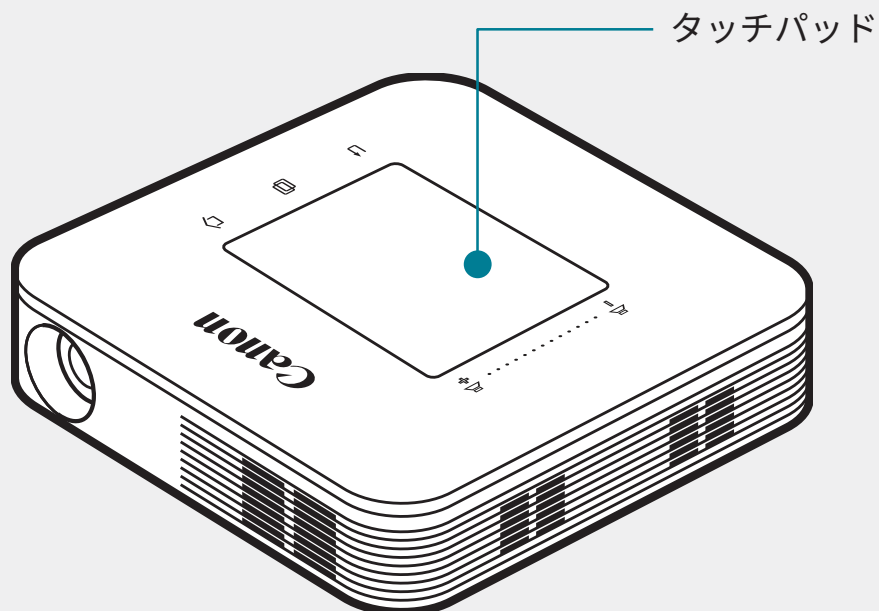
使用中に音量調節ボタンを押すと、画面に音量調節状態が表示され、音量を調整しながら確認できます。



- 機器を終了しても設定値は維持されます。
- 投写の方法によっては画面に音量調節状態が表示されない場合があります。
- 「設定」の「オーディオ設定」でも調整できます。

タッチパッドの操作

プロジェクターから投写された画面から、タッチパッドを操作してメニューの選択、アプリの実行、ボタンのクリック、ソフトキーボードの入力などができます。

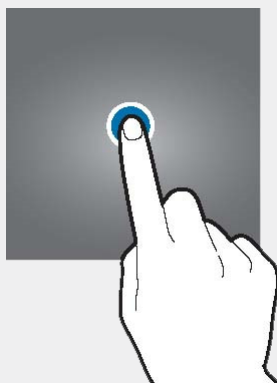


メモ

- タッチパッドまたはタッチボタンに、電気が通っている物が触れないようご注意ください。静電気等の電氣的刺激により誤作動や故障を起こすことがあります。
- タッチパッドの端はタッチ認識しない部分のため、正常に動作しないことがあります。
- タッチパッドは指でタッチしてください。
- タッチパッドの操作は、USBマウス(別売)を接続することでも操作を行なうことができます。

選択/実行

アプリケーションの実行、目的メニューの選択、画面表示ボタンのクリック、キーボード入力の際は、タッチパッドを軽くタップします。

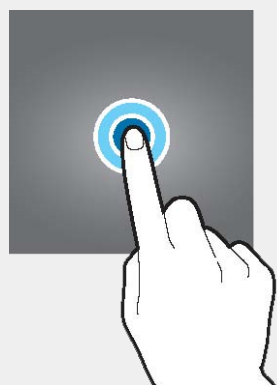


メニュー表示

ファイルエクスプローラー画面などで2回タップし、2回目のタップを長押しするとメニューが表示されます。

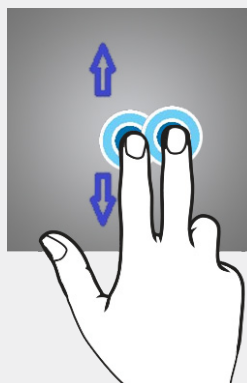


- マウスの右クリック相当の機能です。



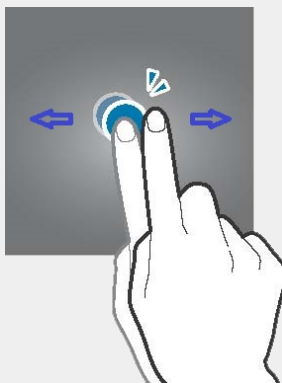
画面を上下に移動する

タッチパッドを二本の指でタップして、上下にドラッグします。



画面を左右に移動する

タッチパッドを二回タップして、押した状態で左右に長くドラッグします。または、ページ送りの矢印か、該当ページへのポイントにカーソルを合わせてタップします。



プロジェクターを使用する

ホーム画面

ホーム画面は、製品の主なアプリケーションおよび機能を使用するためのスタート画面です。ホーム画面のアイコンをタップして、目的のページおよび機能アイコンを開きます。



- 1 ステータス バー:デバイスのステータスアイコンや日付、時間などが表示されます。
09:04 2019/04/02 火 :現在の時刻、日付
USB :USBストレージデバイスの接続状態
MicroSD :MicroSD カードの装着状態
Bluetooth :Bluetoothの接続状態
Wi-Fi :Wi-Fiの接続状態
バッテリー :バッテリーの残量 (5段階での残量表示です。)
- 2 ミラーリング:モバイル機器 (Android OSのみ) の画面をワイヤレスで共有することができます。
- 3 HDMI:HDMI接続を行います。
- 4 アプリケーション:インストール済みのアプリケーションのリストを見ることができます。
- 5 ブラウザ:インターネットに接続するための、WEBブラウザが起動します。
- 6 マルチメディア:ビデオ、音楽、アルバムアプリケーションを起動できます。
- 7 設定:本機の設定確認や変更ができます。
- 8 追加:[追加]を押して、アプリケーション内にあるアプリを選択しショートカットとして表示することができます。(最大6個)

無線接続(ミラーリング)：Android OSのみ

1. プロジェクターのホーム画面から[ミラーリング]をタップします。
2. 接続するスマートデバイスからミラーリング機能をオンにします。
スマートデバイスの選択画面から「MiniPJ_xxxx」を選択します。
3. スマートデバイスとプロジェクターが無線で接続されると、スマートデバイスの画面がプロジェクターから投影されます。

メモ

- 無線接続(ミラーリング)が可能なAndroid OSの対応状況は製品ホームページをご確認ください。
- スマートデバイスの製造メーカー毎にミラーリング機能を設定する方法が異なる場合があります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書にてご確認ください。
- 無線接続を試してみても接続できない場合や、画面に異常がある場合は、ミラーリングモードを無効にした後、もう一度接続してみてください。(接続動作時には、通信環境が安定するまで時間が必要です。)尚、すべてのスマートデバイスの接続を保証するものではありません。
- プロジェクターと無線接続時、スマートデバイスで起動中のアプリケーションとその他動作などで、転送速度に遅延が発生する可能性があります。
- スマートデバイスのOSと製造メーカー毎の無線環境によって性能に差が生じることがあります。
- ミラーリング動作は“SoftAP”が搭載されているので外部ルーターの接続が無くても無線接続が可能です。詳しくはお使いの機器の取扱説明書にてご確認ください。
- 無線接続環境では、接続機器または接続環境により無線品質に差が生じることがあります。
- Wi-FiルーターやBluetooth機器と同時に接続されていると回線を圧迫して動作が不安定になる場合があります。他の接続を切ってから、ミラーリングを行ってください。
- 各デバイスに搭載されたOSとの接続は、Canon Korea Business Solutions Inc.による独自の接続動作確認であり、デバイスの各社における動作を保証するものではありません。また、接続対応OSの最新バージョン情報については製品のホームページにてご確認ください。

HDMI接続

1. HDMIケーブルを使用してスマートデバイスやPCなどとプロジェクターを接続します。
2. プロジェクターのホーム画面から[HDMI]をタップします。

スマートデバイスやPCなどとプロジェクターがHDMIで接続されると、プロジェクターからスマートデバイスやPCなどの画面が投影されます。



- HDMI接続には数秒かかります。
- HDMIケーブルは別売品です。
- HDMIロゴが入っている認証済みのケーブルを使用してください。
- 接続する端末によっては、変換コネクタ(別売)が必要な場合があります。
- MHLには非対応です。

アプリケーションメニュー(一例)



- ① **アプリインストーラー**:アプリケーションのインストール及び管理する機能です。



メモ

- Google Playストアはサポートされていません。

- ② **ダウンロード**:インターネットからダウンロードしたファイルを確認する機能です。ダウンロードしたアプリ (xxx.apk) ファイルは、ダブルタップすると、インストールできます。



メモ

- 一部のアプリは、サポートされていないことがあります。

- ③ **ファイルエクスプローラー**:内蔵メモリーとMicroSDカードとUSBメモリーを閲覧するメニューです。

- ④ **電卓**:電卓メニューです。

- ⑤ **ギャラリー、ビデオ、音楽**はホーム画面マルチメディア内のビデオ、音楽、アルバムと同じものです。

(➤クリックでの次ページ)

WPS Office:Office文書を閲覧可能なドキュメントビューアーです。



メモ

- 文書によっては正しく表示されない場合があります。

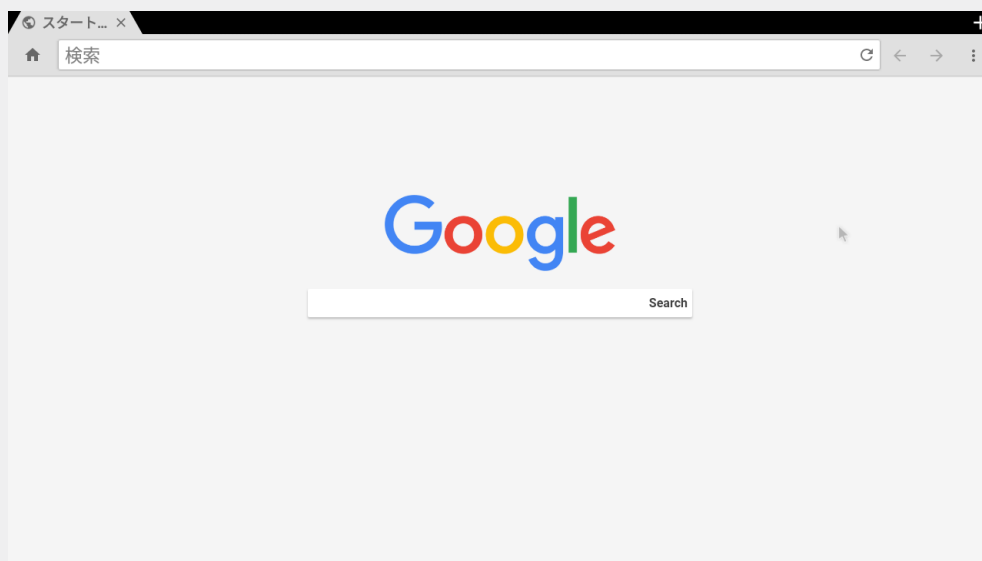
ブラウザ

ウェブサイトへアクセスし、情報を検索したり、ブックマークに追加することができます。ただし、ブラウザを使用するためには、あらかじめインターネットに接続しておく必要があります。

1. プロジェクターのホーム画面から[ブラウザ]をタップします。



- 別途モバイルWi-Fiルーターなどインターネット通信環境が必要です。



2. アドレス入力欄や検索欄をクリックします。
3. ウェブサイトのアドレスまたは検索語句を入力し、をクリックします。



- 文字入力時は、画面にソフトウェアキーボードが表示されます。

マルチメディア

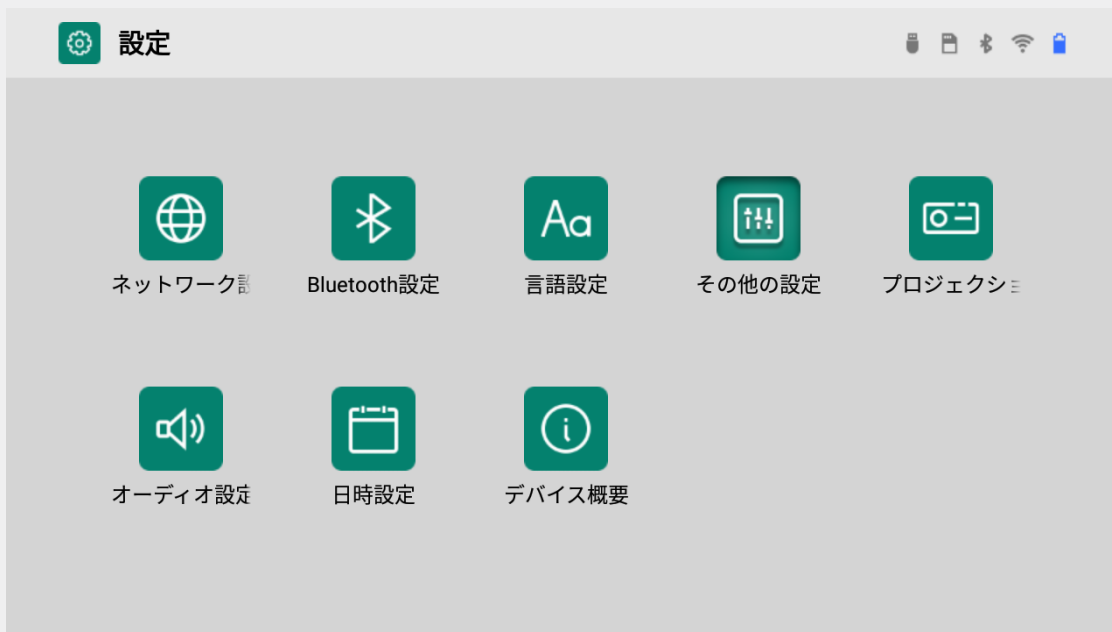
プロジェクターのホーム画面から[マルチメディア]をタップします。



- ① **ビデオ**:動画リストを表示し、目的のファイルを選択して再生できます。
- ② **音楽**:音楽リストを表示し、目的のファイルを選択して再生できます。
- ③ **アルバム**:静止画リストを表示し、目的のファイルを選択して閲覧できます。

設定

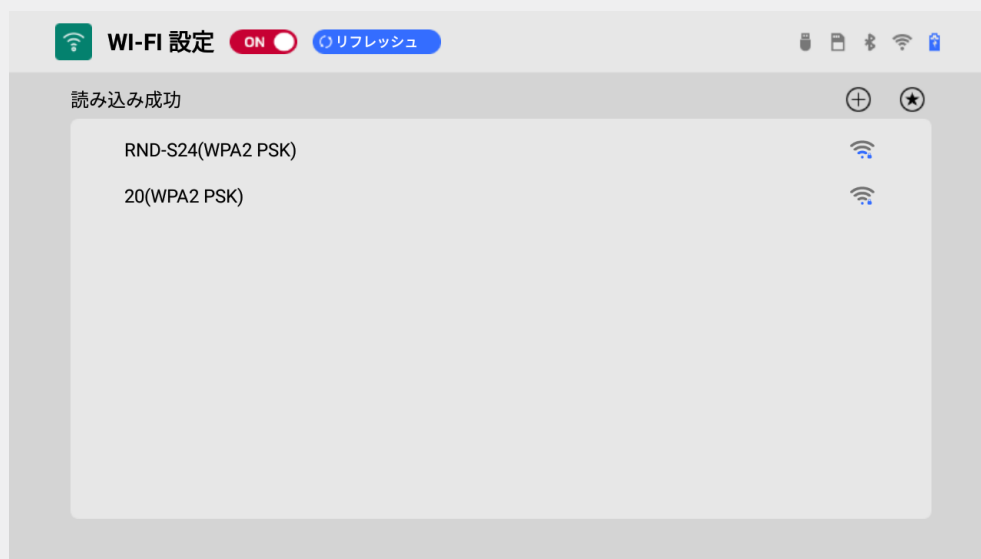
ホーム画面の「設定」をタップし、各アイコンをタップすることでデバイスの設定を確認および変更可能な画面に移動します。



ネットワーク設定

Wi-Fi設定

1. ホーム画面から「設定」をタップし、設定画面の「ネットワーク設定」をタップします。
2. ネットワーク設定画面の「Wi-Fi設定」を選択し、機能をオンにします。



3. 検出されたWi-Fiネットワークリストから、使用するWi-Fiを選択します。
パスワードでロックされている場合はパスワードを入力します。
4. 接続をクリックして、Wi-Fiネットワークに接続します。

メモ

- 接続履歴のあるWi-Fiはパスワード入力なしで自動接続されます。
- 自動接続されないようにする場合、リスト上の該当Wi-Fiをクリックして、「削除」を選択してください。
- パスワード入力時は、画面にソフトウェアキーボードが表示されます。
- SSID一覧に利用したいSSIDが表示されていない場合は「リフレッシュ」をクリックしてください。

ホットスポット設定

ホットスポットを使用して他のデバイスと無線で接続及び共有することができます。

1. ホーム画面から「設定」をタップし、設定画面の「ホットスポット設定」をタップします。
2. ホットスポット設定機能をオンにします。



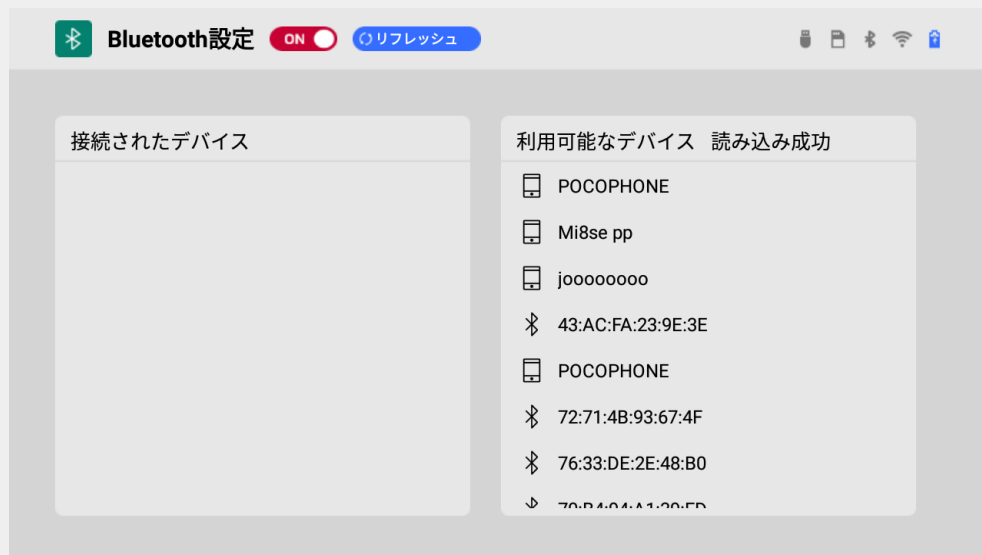
メモ

- ネットワークSSIDとパスワードを設定し保存することができます。
 - 設定したネットワークSSIDが他のスマートデバイスのネットワークリストに表示されます。
3. 接続するスマートデバイスのWi-Fi機能をオンにします。
 4. 検出されたネットワークリストからプロジェクターのSSIDを選択した後、パスワードを入力して接続します。

Bluetooth設定

プロジェクターとBluetooth機器を接続することができます。

1. ホーム画面から「設定」をタップし、設定画面の「Bluetooth設定」をタップします。
2. 使用可能なデバイスのリストからBluetooth接続先を選択して接続します。



メモ

- Bluetoothで接続可能なものは、音声出力のみとなります。
- PCなどとHDMIケーブルで接続中にはBluetoothで音声出力をすることはできません。
- 使用可能なデバイスを再検出する場合は「リフレッシュ」をクリックしてください。

言語設定

画面に表示される言語の設定と文字等の入力環境を設定できます。



言語設定

すべてのアプリケーションで使用する言語を選択して使用することができます。

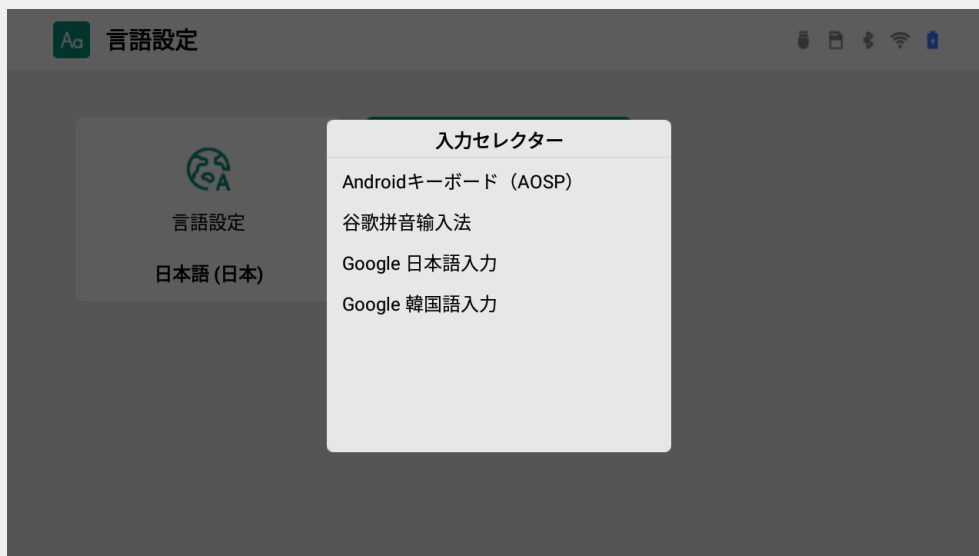
1. 設定画面から「言語設定」をタップします。
2. 言語設定画面から「言語設定」をタップし、全アプリケーションで使用する言語を選択して使用してください。



入力設定

文字入力時に使用するキーボードを確認します。使用する言語別に選択して使用することができます。

1. 設定画面から「言語設定」をタップします。
2. 言語設定画面から「入力セクター」をタップし、全アプリケーションで使用する入力設定を選択して使用してください。



その他の設定

アプリケーション設定

インストールされているアプリケーションを一覧表示し、各アプリケーションの設定が行なえます。

出荷時設定にリセットする

すべての設定をデフォルト値に戻します。



メモ

- 内蔵メモリーに保存しているデータやダウンロードしたアプリケーションも削除されますのでご注意ください。

外部ストレージ設定

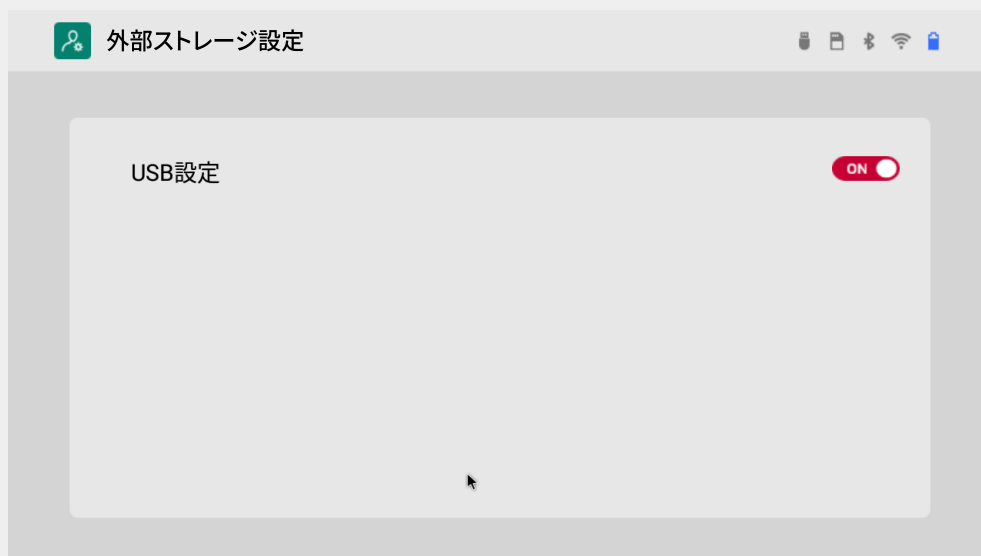
USBケーブル（別売）を使用してPCとプロジェクターを接続することができる機能です。

1. ホーム画面から「設定」をタップし、設定画面の「その他の設定」をタップします。
2. その他の設定画面の「外部ストレージ設定」をタップします。
3. 外部ストレージ設定ウィンドウで「USB設定」をオンにし、PCとプロジェクターをUSBケーブル（別売）で接続してください。
4. 外部ストレージとして認識されるとPC上でデータの保存や削除などができます。



メモ

- PCとプロジェクターをUSBケーブルで接続する際は、「USB Type-Aオス to USB Type-Aオス」のケーブル（別売）を使用して下さい。
- すべてのPCとの接続を保証するものではありません。



プロジェクション設定

プロジェクションモード

投写画像のモード設定です。上下反転（自動/手動）、左右反転、上下左右に反転が選択できます。

キーストーン補正

台形補正の縦方向キーストーンの設定ができます。（自動/手動）



メモ

- 補正の範囲は水平からの角度±40度です。

明るさ調整

スライドバー上をタップすることで明るさの調整ができます。（0%～100%）

電源アダプター接続時は最大100%、バッテリー駆動時は最大50%まで調整可能です。



メモ

- 機器を終了すると、設定値はリセットされます。
- バッテリー駆動時に電源アダプターを接続すると100%になります。

色温度調整

投写画面の色温度を標準/寒色/暖色に補正することができます。

オーディオ設定

音量を調整することができます。



- スライダー上をタップすることで音量を確認できます。
- 本体上面の「音量調節ボタン」でも調整することができます。
- 機器を終了しても設定値は維持されます。

日時設定

プロジェクターのタイムゾーンの選択や日付や時刻の表示方法を設定することができます。

デバイス概要

マシンについて

機器情報を確認することができます。

ローカルアップグレード

メモ

- アップデート対象ソフトウェアのビルド番号が、現在インストールされているバージョンより新しいものか確認してください。
- USBメモリーのサブフォルダに保存、またはファイルの名前が違う場合、アップデートできません。
- USBメモリーは、FAT32/NTFSのファイル形式でフォーマットされている必要があります。
- セキュリティー機能付きのUSBメモリーは使用できません。
- アップデート中、自動で電源のON/OFFが数回繰り返されます。アップデートが完了するまで、デバイスを操作しないで下さい。
- 電源を強制的にOFFにした場合、本製品のソフトウェアが損傷するおそれがあります。
- ファイル転送中にUSBメモリーを外さないで下さい。データおよび製品が損傷するおそれがあります。
- アップデートを実行するには、30%以上の電源が必要なため、必ず電源アダプター (DC12V/3A) を接続した状態でアップグレード作業を行ってください。

1. アップデートの前に、デバイスにインストールされたソフトウェアのビルド番号を確認します。
ビルド番号は、設定 > デバイス概要 > マシンについてから確認できます。
2. アップデート用のソフトウェアを製品ホームページ(<https://cweb.canon.jp/mini-projector/lineup/c-13w/>)からダウンロードしてください。
3. ダウンロードしたファイル (upgrade_MiniPJ_Vxx.zip) の名前を「upgrade_MiniPJ.zip」に変更して、USBメモリーまたはMicroSDカードのルートディレクトリに保存してください。
4. USBメモリーをUSBポートに挿入するか、MicroSDカードをスロットに挿入します。
5. ホーム画面から「設定」をタップし、設定画面の「デバイス概要」をタップします。
6. デバイス概要画面の「ローカルアップグレード」をタップします。
7. アップグレードボタンをクリックして、システムをアップグレードしてください。



8. アップデートが完了したら、USBメモリーまたはMicroSDカードを外して下さい。

充電の仕方

製品の充電

1. 電源入力端子に本製品に同梱されている電源アダプターを接続します。
必ず同梱の電源アダプターのみを使用してください。
2. 充電ランプが緑色に変わったら、電源アダプターと製品を取り外してください。



メモ

充電ランプの色	赤色:充電中	緑色:充電完了
---------	--------	---------

製品の充電時間および駆動時間

製品のご購入後に初めて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、使用する前にまずバッテリーを十分に充電してからご使用ください。

充電時間	約3時間	駆動時間	約2時間
------	------	------	------

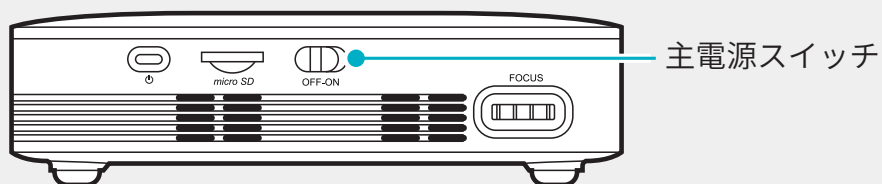


メモ

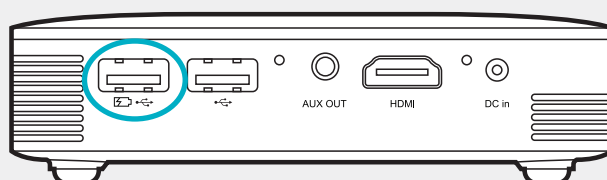
- 充電時間と駆動時間は、充電状態と使用環境によって異なる場合があります。
- 上記の充電時間は電源オフ時、駆動時間は音量レベル中の場合です。
- バッテリーは経年劣化とともに駆動時間が徐々に短くなったり、充電の所要時間が長くなることがあります。
- プロジェクターは同梱の電源アダプター (DC12V/3A) を使用して充電してください。正規充電器以外の充電器を使用すると、正常に充電されなかったり、または機能に異常が生じる原因になります。

USB外部充電機能(モバイルバッテリー機能)

1. 主電源スイッチをONにします。



2. 充電したいスマートデバイスからのUSBケーブル(Type-A)を下図○側のUSB接続端子に接続して充電します。



メモ

- バッテリー容量: 最大3,100mAh (充電時の電圧/電流は、DC5V、1A/h です。)
- 充電可能時間はプロジェクターのバッテリー残量により異なります。
- プロジェクターに電源アダプターを接続しながらでも、スマートデバイスに充電できます。
- すべてのスマートデバイスの充電を保証するものではありません。

困ったときには

電源が入らない

- 主電源スイッチはONになっていますか？
- 電源アダプターを接続して、しばらくしてから電源ボタンを押してください。
- 電源ボタンは2～3秒押す必要があります。

無線接続されない

- 無線環境を確認してください。
- Wi-FiルーターやBluetooth機器と同時に接続されていると回線を圧迫して動作が不安定になる場合があります。他の接続を切ってから、ミラーリングを行ってください。

映像と音声再生されない

- ファイルのコーデックを変換してから使用してください。
- Dolby (AC3など)、DTSなどのいくつかのコーデックは対応されていないものがあり、映像及び音声再生できません。



メモ

< 主な対応コーデック >

- ビデオコーデック：H.263、H.264/AVC、H.265/HEVC
- オーディオコーデック：MP3、WMA、WAV、AAC

※すべてのコーデックに対応しているわけではありません。

※エンコード/ファイルフォーマットによっては再生できないものがあります。

※著作権保護されたファイルは再生できません。

製品仕様

製品名		ミニプロジェクター C-13W			
光学	映像素子	DMD	入力端子	HDMI	HDMI 端子
	明るさ	130lm (電源アダプターを接続、明るさ調整100%の場合)		USB	USB TypeA×2 (モバイルバッテリー機能は1つのみ) (FAT32/NTFS、最大64GB)
	解像度	WVGA (854×480)		MicroSD	MicroSDソケット (最大32GB)
	コントラスト比	400:1	出力端子	音声出力	ステレオミニジャック
	最大入力解像度	Full HD (本体メモリーやUSBメモリー、MicroSDは4K UHD)		Bluetooth®	BT 4.2 (音声出力のみ) ※HDMI接続時の音声出力は出来ません。
	光源	RGB LED		内蔵スピーカー	2.5W (モノラル)
	画面サイズ	最小16.1インチ (0.5m) / 最大97インチ (3m)	無線通信	ミラーリング 対応OS	Android OS
	ピント調整	手動		周波数	2.4GHz/5.0GHz
	台形補正	縦方向オートキーストーン		Channel	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
	アスペクト比	16:9	周波数範囲	WAN	2,412 MHz ~ 2,472 MHz / 5,180 MHz ~ 5,240 MHz
	画面オフセット	100%		Bluetooth®	2.402GHz ~ 2.480GHz
充電ランプ	充電中	赤色	内蔵メモリー	メモリー	8GB (ユーザー利用可能領域 4GB)
	充電完了	緑色		アダプター種類	電源アダプター
バッテリー 容量	容量	7.4V、3,100mAh	AC アダプター	モデル名	G361J-120300B-1
	充電時間	約3時間 (電源オフ時)		製造メーカー	Dongguan Fastbon Electronics Co., Ltd.
	駆動時間	約2時間 (音量レベル中)		入力	100-240 V、50-60 Hz、0.8 A
電源	製品電源入力	DC 12V、3A		出力	DC 12V、3A
	消費電力	(最大) 36W 以下 (電源アダプター使用時) (標準) 10W (バッテリー駆動時)	規格	サイズ (W×D×H)	120*120*33 mm
動作温度/保管温度		0~35°C/10~40°C		重量	410g

※主な設定のデフォルト値

項目	設定	デフォルト値	備考
Wi-Fi	OFF/ON	OFF	
Bluetooth	OFF/ON	OFF	
外部ストレージ設定	OFF/ON	OFF	機器の終了時、設定値はリセットされます。
プロジェクションモード	上下左右に反転/上下反転/正面/ 左右反転/オート	正面	
キーストーン補正	オート(OFF/ON)	ON	
明るさ調整	電源アダプター使用時: 0~100%	100%	機器の終了時、設定値はリセットされます。
	バッテリー駆動時: 0~50%	50%	
色温度調整	標準/寒色/暖色	標準	
オーディオ設定	0~100 %	73%	
日時設定	オート/手動操作	手動操作	初期設定時にタイムゾーンの選択を変更しなかった場合はオートになります。

法的告知

免責事項

本マニュアルの図は、製品の動作を説明するための例示であるため、実物と異なる場合があります。また、本マニュアルは予告なしに変更されることがあります。

商標について

Wi-Fiはwww.wi-fi.orgの商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Bluetooth®はBluetooth.orgの商標または登録商標です。

AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。

その他の社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

電波法について

『本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備です。』

5.2GHz帯高出力基地局等に接続される場合を除き、5.2GHz帯及び5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は禁止されています。(In door use only, except for connection to dedicate devices.)



電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90071

※おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間（平日）9:00～17:00（土日祝日および年末年始弊社休業日は休ませて頂きます。

※海外からご利用の方は、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9348をご利用ください。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。